

全国在宅療養支援診療所連絡会 第3回全国大会 プログラム別詳細

| | |
|----------------|---|
| 内容 | ワークショップ |
| タイトル | 人生の最終段階に対応できる人材育成ワークショップ ～苦手意識から関わる自信へ～ |
| 日時 | 平成28年3月13日 9:00-12:00 |
| 会場 | 第3会場(605) |
| 演者 | 小澤竹俊(めぐみ在宅クリニック) |
| 企画趣旨・概要 | <p>地域包括ケアを進めていく上で、人生の最終段階を迎えた人とその家族の具体的な支援について、学ぶ必要があります。特に自宅や介護施設での看取りに関わる上で、医療職のみならず介護職にも、患者さん(利用者さん)・家族と直接関わる事が求められます。今までできていたことができなくなる苦しみは、どれほど心を込めて支援にあたったとしても、残り続けます。歩いていた人は歩けなくなり、やがて大好きな家族とお別れをしてしまいます。このような場面での関わりを得意とする人は、どれだけいるのでしょうか?多くの人は苦手意識を持つかもしれません。</p> <p>このワークショップでは、エンドオブライフ・ケア協会で行っているエンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座の一部を紹介します。苦手意識から、関わる自信が得られるために、“援助を言葉にする”ことを学びます。具体的には、苦しむ人への援助と5つの課題として、(1)援助的コミュニケーション(苦しんでいる人は、自分の苦しみを理解してくれる人がいると嬉しい)、(2)相手の苦しみのキャッチ、(3)相手の支えのキャッチ、(4)どのような私達であれば、相手の支えを強めることができるのかを知り実践する、(5)支えようとする自身の支えを知る、を取り上げます。1対1で対応するときも、多職種連携で関わる時も、さらには意思決定支援においても、5つの課題は共通です。今まで何気なくしていたことが、これで良かったという実感、さらにこれから私にできることがあるという予感を通して、人生の最終段階の人とその家族に関わる自信が得られることでしょう。たった1回の出会いで、人生は変わるかもしれません。このテーマに関心のある人は、是非、お越し下さい。</p> |

(敬称略)